



届け！感謝の気持ち！

まだまだ猛威を振るう新型コロナウイルス。収束へ向かうどころか、さらに感染が拡大しており、小松市でも予断を許さない状況が続いています。

そんな中、本校の生徒会のみなさんが中心となり、医療従事者の方々への感謝と激励のメッセージを作成し、栗津神経サナトリウムさんへ届けました。南部中の全校生徒と符津小の全校児童が書いた、コロナ収束への願いと、毎日大変な現場で頑張ってくださっているの方々への感謝の心を込めたメッセージです。



ぜひたくさんの方々の心に届くといいですね！

一つしかない命。大切に守ろう！



みなさんが朝、学校に来るとき黄色のジャンパーやベストを着て、交通安全を見守ってくださっているの方々を見かけると思います。「わがまち防犯隊」などのボランティアの方々です。みなさんが安全に学校に登校できるように朝早くから危険な箇所立ってくださっています。

今回、その中のお一人で、毎朝こまつドーム近くで見守り活動を続けてくださっている、園(その)弘幸さんにお話を伺ってきました。

Q.園さんは、いつごろからこのような活動をしてらっしゃるのですか？

園さん ー10年と少し前からです。

Q.なぜ、登下校の見守り活動をしようと思われたのですか？

園さん ー私がこういった見守り活動をしようと思ったきっかけは、近くの小学校で児童が交通事故に遭い、亡くなってしまったということがあったからです。まだ入学したばかりの1年生でした。子どもたちは油断することが多く、少しでも見てあげたい。何とか子どもたちの命を守ることができないものかと考えて、ボランティアを始めました。

Q.登下校時に、とくに気をつけてほしいことは何ですか？

園さん ーとくに気になっているのが、自転車の並列運転です。並列はとても危険です。また、歩道があるところは必ず歩道を走ってほしいことです。そして、後ろから来る自動車にも気をつけてほしいです。前から来るのは自分で見えますが、後ろはなかなか見えません。しっかりと後方にも注意を払って自転車にのってください。

Q.最後に、南部中の生徒に一言お願いします。

園さん 一南部中の生徒はとても気持ちの良いあいさつを返してくれます。だまって行かれるとつらいですが、南部の生徒はそれがない。それが本当にうれしいことです。ぜひ、しっかり左右を確認して交通安全に気をつけて、元気に成長してください。

園さん、ありがとうございました。そして毎日ありがとうございます。生徒のみなさん、みなさんの健康ですこやかな成長は、家族や先生だけでなく、地域の方も願っています。交通安全の大切さは学校でもくり返し伝えています。しっかりとルールやマナーを守り、自分や周りの人の命を守るようにしましょう！それが、みなさんのことを見守ってくださっている方々への恩返しにもなるはずです。感謝の気持ちをもって過ごしていきたいですね。



仲間を信じて、『目に見えない力』



現在、天然キャラが人気でタレントとしてTV番組などで活躍する丸山桂里奈さん。彼女は元々サッカー選手だったことをご存じの方も多いと思います。そんな丸山さんは日本代表として今から10年前の2011年のサッカー女子ワールドカップになでしこジャパンの一員として出場しています。

丸山さんはスーパーサブとして、準々決勝のドイツ戦、延長後半から出場。澤選手からのパスを見事に決め、それが決勝ゴールとなり、チームを勝利に導きました。その勢いで日本はその後の試合も勝ち、見事、世界一に輝きました。

そんなチームを救う一撃を放ったことを、丸山さんはのちのインタビューでこんな風に語っています。

「私は岩淵（真奈選手）がボールを持った瞬間に走りだしていました。ずっと前を向いていたので、実は、澤さんからのパスだったことを知らなかったんですよ。もし澤さんが蹴るのを見てから走り出していたら、相手ディフェンダーに追いつかれてクリアされていたと思います。サッカーを始めた子供の頃は、『ボールを見ながら走りなさい』と教えられてきた。でも目では見えなくても信頼でつながるパスがある。」

「点を決める選手ばかりが注目されがちですが、決められるのはディフェンスの力があるからです。私のシュートの時も、安藤（梢選手）が前につめて相手との駆け引きをしてくれていたから、オフサイドにならずにすんだ。チームメイトのプレーが、私のプレーを支えてくれたんだと思います。」

決勝のアメリカ戦でも、二度のビハインドをひっくり返し勝利したなでしこジャパン。「あの時も、それこそ目に見えない力が働いた気がします。ドイツもアメリカも一度も勝てたことがない相手。それでも一人ひとりが勝てるって信じて最後まで戦えば、絶対に夢はかなうんですね。」



丸山さんが語った『目に見えない力』。それは信頼と、そして仲間の支えだと思っています。仲間を信じて走る。誰かのために動く。動いてくれたことに気づく。そして応える。そうしてチームのみんなの心が一つにまとまった時、みんなが誰かのために思って行動できた時、人間は自分では考えられない力が出るのかも知れません。

みなさんは一人ひとりが『目に見えない力』を生み出すことができる可能性を秘めています。今月行われるブロック大会は、これまで多くの苦楽を共にしてきた仲間と戦う大きな舞台です。南中の『目に見えない力』を結集させて、最後まで全員で戦いぬこう！